

町民の祭典

ベトナムの敗残兵も来町

秋晴れに恵まれた第四回横芝町体育祭は、横芝中学校を会場に盛大に行なわれた。町旗は横芝第一保育所前をスタートし一路選手団のまつ横中



グランドへと横小生徒の手により入場した。すみわたった秋空のもと、九時三十分日章旗を先頭に横芝町旗、横小生徒の吹奏する鼓笛隊、役員、選手団と入場行進を行ない、国旗、町旗及び体協旗の掲揚が終り大会会長から「町民の皆様方には、一年間を通じておほねをりをいただいております。この大会は、皆様方の一年間のおほねを慰労するお祭りとして行ないたいと考えておりますので、和気あいあいの中に張りきって頑張ってください」という挨拶があり、次いで、審判長の指示、選

手宣誓などがあって競技が開始された。

万博めぐり、尻圧測定などの診競技がとびだしいよいよ大会も最高潮に達した。昼食時には、今大会初参加のチンドン屋、水戸黄門、ベトナムの敗残兵などの仮装行列がとび出し会場は笑のうずと化した。

ブロック対抗リレーを最後に午後四時過ぎ一切の競技も終了し祭典の幕を閉じた。各ブロックの成績は次のとおりでした。

- 第一位 第三ブロック (東町、栗山地区)
 - 第二位 第二ブロック (上町、本町、古川、両国、鳥喰地区)
- 尚この大会に、永年にわたる賞品の寄贈をしてこられた次の二氏に大会会長(町長)から感謝状が送られた。
- 東町 藤城頭義
本町 古谷牛乳KK

議会だより

九月定例会は、九月三十日に招集され、一般質問、応答が行なわれ、引続き議案四件、諮問一件、請願一件の提案があり、慎重審議の結果、各案件ともそれぞれ可決されました。当日は、町の総務員さん

土屋収入役再任

収入役土屋直勝氏が十月三十一日で任期満了となったので、十月三十一日招集された臨時議会で同意を得、再度収入役に就任されました。同氏は三十七年十一月に収入役として就任してから三期目です

戦没者の合同慰霊祭

横中体育館で「おそかに行なう」

終戦から二十五年を迎えた戦没者三百八十三柱の合同慰霊祭は、十一月十四日中学校体育館で行なわれた。同席には、県をはじめ郡、近隣町村の代表者および町内各種団体から多数の来賓を迎え午前十時から始められた。お祀した三百八十三柱の英霊は、遠くは日清、日露の両戦役から近くは大東亜戦争において、あらゆる犠牲を認む苦難に耐え、私共国民の身代り

方が、町政研究のために、終始熱心に傍聴されました。

議案第一号 横芝町老人ホーム設置条例の一部を改正する条例制定について (老人ホームの所在地の地番を改めるもの)

議案第二号 山武郡市衛生組合規約の一部を改正する規約の制定について

議案第三号 工事請負契約の締結について (横芝小学校第四期改築工事の請負について、三千六百万円で株式会社ノ内組と契約するもの)

議案第四号 昭和四十五年度横芝町一般会計補正予算議定について (才入才出共それぞれ四千三百九十一万五千円を追加し、予算総額を四億八千七百四十六万五千円とするもの。主なものは、消防組合負担金及び分署土地購入費保養センター工事費、養護事業補助金、公民館運営費等である。)

諮問第一号 人権擁護委員の推せんにつき意見を求めることについて (人権擁護委員が一名任期満了のため、再び佐久間義一氏を推せんするもの。)

請願第一号 戦没者遺族に対する老齢福祉年金受給の制限撤廃に関する請願 (町遺族会代表者、鈴木幸太郎氏から提出された戦没者等遺族に支給された公務扶助料、遺族年金の支給者には、老令福祉年金の支給額が制限されているのでその制限を撤廃するよう政府に上申されたい旨の請願について採択したもの。)

臨時議会(七月二十四日) 議案第一号 財産の取得について (NHK横芝受信所跡と栗山寮の土地一、二、六九一・五七平方メートル(約三、八三九坪)と同所の建物三棟一三三・二九平方メートル(約九、七六坪)を一、千二百二十万円で買って買収するもの)

臨時議会(八月二十一日) 議案第一号 山武郡市広域市町村圏協議会の設置に関する協議について (山武郡市が市町村の区域を越えて、住民の日常生活圏を一体とした、公共施設の整備を図るための組織として、協議会規約を承認するもの)

臨時議会(十月三十一日) 議案第一号 収入役の選任につき同意を求めることについて (収入役の任期満了のため再び土屋直勝氏を選任するもの)

議員生活二十年の二人に表彰状

第七回山武郡町村議会議員

横芝町中央公民館で約二百名の町村議員が一同に会し、盛大に開催されました。この研修会の席上、二十年の長きにわたり議員として町発展のため尽力された方々が、郡議長会長から表彰されました。町関係者は次のとおりです。

遠山 伊藤右伸
東町 藤代頭義

協会から表彰状が

小関氏に

於幾の小関喜保氏は、昭和三十五年以來千葉県ユースホステル協会の常任理事として、企画運営グループの指導にあたり、今回その功勞に對し、去る十月二十五日県レクリエーション協会より表彰状が授与されました。